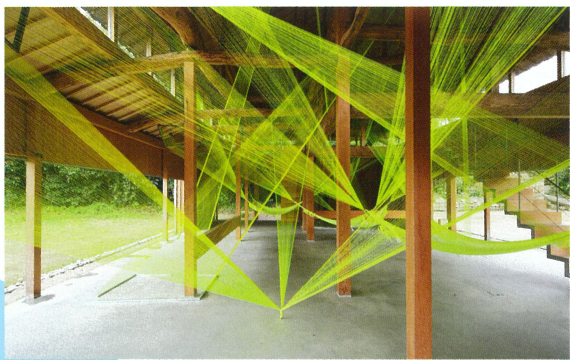




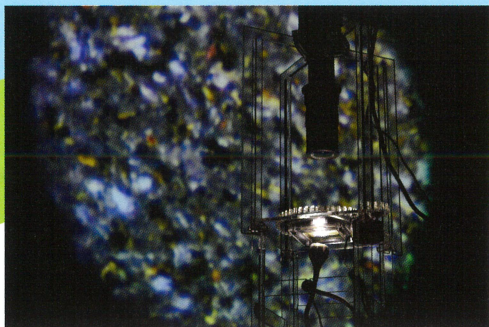
下平千夏《エーテル》2015年



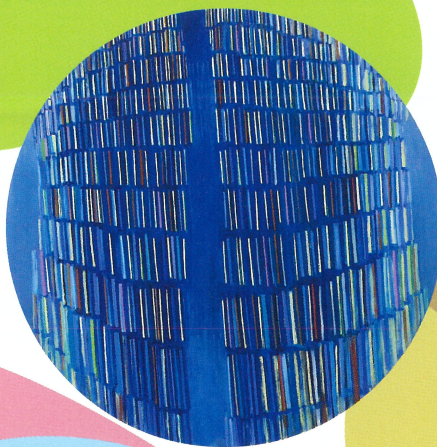
島州一《Tracing-Shirt 186》2014年



堀内袈裟雄《ビジン層》1976年



細萱航平《星を浮かべる》2020年



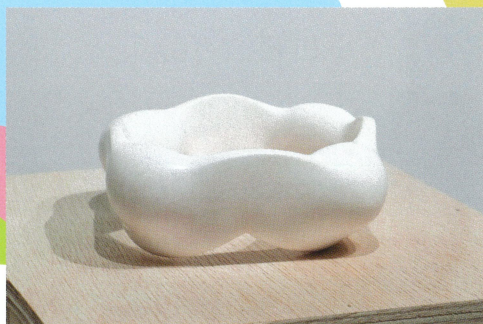
小川格《網膜ゴッコ(いつかの夜)/
Retinal Players(One Of Those Nights)》2024年



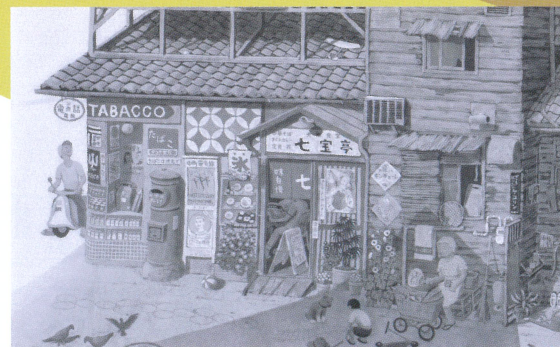
戸矢崎満雄《ボタン曼荼羅》2022年



宇賀神拓也《Obsidian #3-A》2024年



波多腰彩花《round dance》2024年



木村不二雄《昭和の夏の物語(部分)》2015年

SHINBIS 2025 テーマ 地域と美術 シンビズム6

信州ミュージアム・ネットワークが選んだ作家たち

【イベント】

各会場のイベント等の詳細はシンビズム公式サイトにて
ご紹介しています。

問い合わせ | 信州アートカウンシル ((一財)長野県文化振興事業団 アーツカウンシル推進局)

〒380-0928長野市若里1-1-4県立長野図書館内1階
電話026-223-2111 Fax026-223-2112 email:info@shinbism.jp <https://shinbism.jp/> [シンビズム](#) 検索



グループショウ

入場料 一般500円、高校生以下無料 ※木曾、須坂エリアではサテライト小展示を展開

9 sat 11 sun
20 16

美術館から地域へ、多様な人々にひらく
島州一(絵画・版画)
下平千夏(インスタレーションほか)
細萱航平(彫刻・インスタレーション)

小海町高原美術館
長野県南佐久郡小海町豊里5918-2
電話0267-93-2133
9:00-17:00(入館は16:30まで)
火曜休(祝日の場合は翌日)

10 sat 11 sun
4 9

空き家活用、地域AIRとの連携
宇賀神拓也(写真)
小川格(絵画)
波多腰彩花(陶・インスタレーション)

木祖村旧藤屋旅館(数原宿)
長野県木曾郡木祖村数原1067
電話0264-36-3348
9:00-16:00(入館は15:30まで)
月曜休(祝日の場合は翌日)
※駐車場は木祖村役場をご利用ください

10 sat 11 mon
4 24

移築建物の活用、地域による連携小展示
木村不二雄(染色)
戸矢崎満雄(インスタレーション)
堀内袈裟雄(絵画・陶芸)

須坂歴史的建物園・
須坂版画美術館
長野県須坂市大字野辺1386-8
電話026-248-6633
9:00-17:00(入館は16:30まで)
水曜休(祝日の場合は翌日)

学校連携プログラム

学校と美術、レガシーを未来へ
キッズ学芸員(児童)とシンビスト(作家・学芸員)
による収蔵作品展プロジェクト

泰阜村立学校美術館
長野県下伊那郡泰阜村6221-5 泰阜小学校内
電話:0260-25-1030

「ぼくたち・わたしたちがつくる『やすび』企画展」
9月25日[木]ー10月14日[火] この期間のみ土・日開館
12月29日ー1月3日休、但し、土日祝日及び長期休業など
学校が休みの時の見学については事前に電話などで
見学の申込みをしてください。



入館
無料

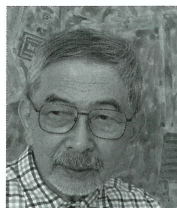
シンビズムは、平成28(2016)年度より長野県芸術監督の本江邦夫氏のもと、県内美術館などの学芸員が所属を超えて交流し、同じ立場で協議しながら信州ゆかりの出品作家を選定、これまでに第1回～第5回展まで計18会場にて全76名の作家を紹介してきました。

その活動は全国でも稀有な取り組みとして注目を集めています。

今展では、「地域と美術」をテーマにグループショウと学校連携プログラムの2部構成により、会場エリアの特性に合わせた個別テーマを設定し、テーマ毎にふさわしい作家を選抜いたします。来場者をはじめ多くの皆様とともに改めてシンビズムの意義や長野県の現代美術を考える機会とするものです。また、シンビズムは、令和5(2023)年度から県の「アートを活用した学び推進事業」のなかで学校での対話鑑賞の普及を目的として教員向けワークショップの実施やモデル校へのファシリテーター(学芸員)派遣を進めています。

ご来場の皆様とともに改めてシンビズムの意義や長野県の現代美術を考える機会にできればと思います。本事業の継続的な実施により県民の芸術鑑賞機会の拡大を図り、現代作家への全県的支援の拡充や、学芸員の意識共有と資質の向上、県内美術館・博物館のネットワーク化の促進、多様な人々が関われる環境整備、県全体の美術振興につなげていくことを目指しています。

9^{sat} 20^{sun} 11^{sat} 16^{sun} 美術館から地域へ、多様な人々にひらく 小海町高原美術館



島州一

絵画・版画

1970年代から情報化社会・情報処理をテーマとして掲げ、その方法を版画や絵画、空間表現で実践し続けた

1935 東京都生まれ
1959 多摩美術大学絵画科卒業
1980-81 文化庁「芸術家在外研修」研修生として欧米に留学
1994 長野県東部町(現東御市)に住居兼アトリエを構え終の住処とする
2018 逝去(82歳)

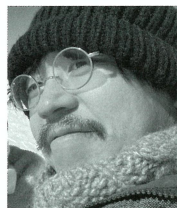


下平千夏

インスタレーションほか

大学で学んだ建築を土台に、輪ゴムやホイール、糸などの身近な素材を用いて、空間に展開する表現を得意とする

1983 長野県岡谷市生まれ
2007 武蔵野美術大学建築学科卒業
2010 東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了



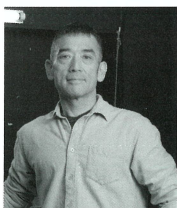
細萱航平

彫刻・インスタレーション

地質学の知見と美術の手法を組み合わせた展示

1992 長野県茅野市生まれ、佐久市で育つ
2020 広島市立大学大学院芸術学専攻博士後期課程総合造形芸術専攻修了
現在、東北大学大学院理学研究科地学専攻博士後期課程在籍

10^{sat} 4^{sun} 11^{sat} 9^{sun} 空き家活用、地域AIRとの連携 木祖村旧藤屋旅館(藪原宿)



宇賀神拓也

写真

朝日村に出土する縄文土器や石器など考古学的モチーフによる作品を制作

1976 東京都生まれ
2001 早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒業
2012 エチオピア、インドなどで4年生活したのち帰国、長野県東筑摩郡朝日村に移住
2023より朝日村にて暗室完備のギャラリー兼スタジオ「BLUE HOUSE STUDIO」主宰



小川格

絵画

具体的ではないもの(作家の無意識)を描き出そうとする日々のドローイングを元に作品を制作

1969 東京都生まれ
1997 ベルギー王立アントワープ芸術アカデミー修了
2002より長野県茅野市在住。展示活動のほか、グループ展やアート・プロジェクトの企画、小中学校への出張授業、ワークショップ、絵画教室なども実践



波多腰彩花

陶・インスタレーション

陶の造形や薄布を使ったインスタレーションなど、内なる場所の気配をすくうための膜をテーマとした作品を制作

1995 長野県上田市生まれ
2016 チェコ共和国にて滞在制作
2017 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科陶磁専攻卒業

10^{sat} 4^{sun} 11^{mon} 24^{mon} 移築建物の活用、地域による連携小展示 須坂歴史的建物園・須坂版画美術館

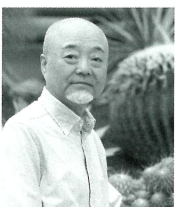


木村不二雄

染色

自然由来の染料を使う信州独自の草木染友禅の数少ない作家

1959 東京都生まれ
1991 長野市にて染色家 小山仁郎氏に草木染友禅を学ぶ
2000 独立し上水内郡牟礼村(現飯綱町)に工房を開設
2006 須坂市に転居。草木染工房「風(ふう)」を開設

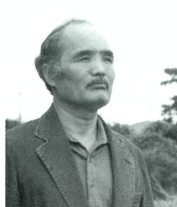


戸矢崎満雄

インスタレーション

ボタンなどの不用品や中古品を集め、空間を生かしたインスタレーションを国内外で発表

1955 長野県埴科郡埴生町(現千曲市)生まれ
1981 東京藝術大学大学院美術研究科修了
1990-2024 神戸芸術工科大学講師・準教授を経て教授
2024から神戸芸術工科大学名誉教授



堀内袈裟雄

絵画・陶芸

東京藝術大学卒業年から読売アンデパンダン展に出展。30代にはニューヨークに留学し、前衛的な抽象画を追い求めた

1932 長野県長野市生まれ
1958 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
1966-69 Art Students League of New York留学
1976 帰国
2013 逝去(81歳)

主催＝信州アーツカウンシル((一財)長野県文化振興事業団)・長野県 共催＝小海町教育委員会、木祖村教育委員会、泰阜村教育委員会、(一財)須坂市文化振興事業団、塩尻市教育委員会 後援＝須坂市、須坂市教育委員会
協力＝木曾ペインティングス 助成＝令和七年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、一般財団法人地域創造 顧問＝笠原美智子(長野県立美術館長) 運営アドバイザー＝石川利江(ISHIKAWA地域文化企画室代表)
エデュケーションアドバイザー＝三澤一実(武蔵野美術大学教授) 企画・構成＝信州ミュージアム・ネットワーク「シンビズム」ワーキンググループ：工藤美幸(佐久市)、由井はる奈(佐久市立近代美術館)、宮下真美(ギャラリー1045)、名取淳一・中嶋実・鈴木一史(小海町高原美術館)、圓山佐登子(小海町)、清水雄・山極佳子・大塚菜々美(上田市立美術館)、佐藤聡史(丸山晩霞記念館)、山崎麻由・佐野悠斗・小沢和実(東御市)、高野真希(星くずの里たかやま 黒曜石体験ミュージアム)、伊能あずさ(川越市立美術館)、廣野雪菜・山岸吉郎・河西見佳(イルフ童画館)、酒井重明(市立岡谷美術館)、前田忠史・中田麻衣子(茅野市美術館)、平林壮太(原村教育委員会)、小松由以(高遠町公民館)、川島周(辰野美術館)、小林一博(泰阜村立学校美術館)、矢ヶ崎結花、伊藤幸穂(木曾ミュージアムサポート)、坂口佳奈(木祖村教育委員会)、石井健郎(塩尻市立平出博物館)、三澤新弥・塩原理絵子(安曇野市教育委員会)、武井敏(公財)碓氷美術館、富永淳子(安曇野高橋節郎記念美術館)、大竹永明、田中想子(須坂版画美術館)、中村綾子・五味大樹(世界の民俗人形博物館)、田中新十郎(田中本家博物館)、布谷理恵(千曲市アートまちかど)、越智留波香(おぶせミュージアム・中島千波館)、水橋絵美(中野市立博物館)、小林宏子(前中野市立博物館)、阿部澄夫((一社)一本木公園バラの会 信州中野銅石版画ミュージアム)、関千尋(山ノ内町立志賀高原ロマン美術館)、小野佳奈、松井正(長野県立美術館)・梨本有見・早川綾音・小澤貴弘・伊藤羊子((一財)長野県文化振興事業団)
*掲載作品は出品作品と必ずしも一致しません。